

【倫理】

民主社会と自由の実現
社会契約説

～ClassPad.net の各種ふせん・授業支援機能を活用する～

社会契約説がどのような思想かを学ぶ授業

3人の哲学者が主張したそれぞれの社会契約説を理解する。

【本授業の目的・狙い・到達目標】

教師向けの目標：生徒に主体的な学びを促すとともに、社会契約説について、3人の哲学者の主張を的確に把握し、理解できるようにする。

生徒向けの目標：主体的に情報を集め、それをグループで整理できるようになる。社会契約説について理解する。

【ClassPad.net 活用によるメリット】

- ・ **協働学習促進**：同時編集機能を用いることによって、グループワークを行いやすくし、協働学習を促進する。
- ・ **板書時間削減**：事前にふせんを用意することで、板書にかかる時間を削減し、ワークに時間をかけることができる。
- ・ **課題の配布→回収→管理→添削→返却の効率化**：
授業支援機能を使えば、全てのアクションがスムーズに。

授業の流れ

ClassPad.net での操作

step1

【本日の授業の概要】

〈テーマ〉
社会契約説

〈やること〉
・個人ワーク
・グループワーク

〈目的〉
ワークを行って情報を収集、整理し、社会契約説について理解する

目的・概要の説明

個人ワークとグループワークを通して、社会契約説について理解するという授業の目的・概要を簡単に説明する。

テキストふせんで目的・概要を視覚的にも示す。

step2

【テーマの説明】

- ・社会契約説とは？
- ・社会契約説を唱えた3人の哲学者
ホッブズ・ロック・ルソー

テーマの説明

社会契約説とは何かとそれを主張した3人の哲学者を紹介する。

EX-word ふせんやファイルふせんを用いて、情報を示す。

step3

【ワークの前準備】

- ① 3人一組のグループを作る。
- ② グループの中で、誰がどの哲学者(ホッブズ・ロック・ルソー)を担当するか決める。

ワークの前準備

1. クラスを3人一組のグループに分ける。
2. 3人のうち誰がどの哲学者の主張を担当するか決めさせる。

前準備として行うことをまとめたテキストふせんを電子黒板等に表示する。

step4

【個人ワーク】

やること：自分が担当する哲学者が主張した社会契約説がどのようなものであったかを調べ、次のピンクのふせんにまとめる。

時間：15分間

注意：教科書、資料集、インターネットのみ使用して良い。EX-word機能は使わないこと。ふせんには自分が担当した哲学者の名前を書くこと。

個人ワーク(15分間)

step3 で決めた担当の哲学者の主張した社会契約説について調べて、テキストふせんにまとめさせる。AI は使用させないこと。

テキストふせんに調べた内容をまとめさせる。

step5

【グループワーク(20分間)】

やること：個人ワークで調べた内容をグループで共有し、それぞれの主張の共通点や相違点を探す。
共有した内容と、主張の共通点・相違点を次のピンクのふせんにまとめる。

時間：20分間

グループワーク(20分間)

調べた内容をグループで共有させ、その上でそれぞれの主張の共通点や相違点を探させる。
また、共有した事項と主張の共通点、相違点をテキストふせんにまとめるように伝える。

同時編集機能を用いて、グループワークの内容をテキストふせんにまとめさせる。また、グループの代表者一名が授業支援機能を用いて教師に作成したふせんを提出する。

step6

【まとめ】

・社会契約説は、自由かつ平等な個人間の契約によって社会や国家は成立するという思想である。

・この説の背景には、人間が制定する実定法と別に、人為的でなく自然のうちに存在する自然法があるという自然法思想が存在する。

まとめ・宿題の提示

授業内容のまとめを行う。
また、どの哲学者の社会契約説が一番納得できるものであったかを選び、その理由を書くことを宿題として課す。次回、選択した理由をクラス全員に発表するものとする。

テキストふせんなどを用いてまとめに必要な情報を表示する。
また、生徒は配布されたテキストふせんに宿題を行い、次回授業日までに提出する。

step7

【参考】

YouTubeチャンネル「TBS CROSS DIG with Bloomberg」に「ルソーと『社会契約説』」をテーマにした動画があります。
次のリンクふせんから動画に飛ぶことができるので、興味がある人は見てみてください。

参考

YouTube チャンネル「TBS CROSS DIG with Bloomberg」にある動画を紹介し、興味を深めたい生徒に対し視聴を勧める。

リンクふせんでYouTube の動画を示す。